

医師の働き方改革

市長 米本 弥一郎



4月から医師の働き方改革が始まりました。長時間労働が常態化している医師の健康を守り、医療の質を保つため、残業時間を原則、年960時間、月80時間相当に規制するといふものです。

これに先立ち、2月に旭中央病院

が記者会見を開き、野村病院長が「地域医療の質を下げずに市民のニーズに添えていきたいが、働き方改革を進めるには厳しい状況です。患者さんや家族の皆さんの協力が重要です」と訴えました。280人いる医師のうち、残業時間が「過労死ライン」とされる月80時間を超える医師が毎月30〜40人おり、月100時間を超える医師も多いとのこと。

令和4年度の救急搬送の受け入れは8、904件、救急患者数は4万4、365人となり、県内の救命救急センターの中で最数です。これま

でも救急患者として来院し軽症だった場合には、時間外選定療養費の支払いを求めるなど、緊急性のない救急外来受診の抑制に向けた対応をしてきましたが、救急患者のうち救急対応が必要でない方が10%余りみられたとのことでした。

会見では「診療時間内の受診を」「緊急性のない夜間・休日の救急外来の受診を控えて」「主治医以外の医療スタッフの対応の容認」「救急安心電話相談・子ども医療電話相談の活用」「かかりつけ医の活用」などを市民に呼びかけました。

旭中央病院は、市民の皆さまと関係者が70年間にわたり育ててきた、地域医療を支える大切な病院です。ご不便をおかけすることもあると思いますが、持続可能な医療体制を構築していくため、ご協力をお願いします。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日：午前9時～午後7時

土・日曜日、祝・休日：午前9時～午後5時

今月の休館日／7日(火)、13日(月)、17日(金)、20日(月)、27日(月)

関市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ

日時／4日(土・祝)、18日(土)

午前10時30分～11時

場所／県立東部図書館3階 研修室

今月のおすすめ



「山の上の家事学校」

近藤史恵 著 (中央公論新社)

離婚後すさんだ生活を送る新聞記者の幸彦は、ある学校を紹介される。そこで事情を抱えた男性たちと勉強する中、自分の生活や思考を見直していく…。



「家族解散まで千キロメートル」

浅倉秋成 著 (角川書店)

実家解体の直前、片付けに帰省し集まった父を除く喜佐家。倉庫の中で盗まれたご神体が見つかり、前科者の父を犯人とし、神社に返す決死のドライブが始まる。

新着図書

- 時間をかけて考える (養老孟司)
- 子どもを育てられない親たち (草薙厚子)
- 涙にも国籍はあるのでしょうか (三浦英之)
- 日本のグルメ図鑑 (地球の歩き方編集室)
- 小児科医ママが教えた体・脳・心を育てる！子どもの食事(工藤紀子)
- ひとり暮らしかんぺきBOOK (加納ナナ)
- 子どもの病気・救急ぜったい「これ知って！」 (野村さちい)
- 日本のミュージアムを旅する (後藤さおり)
- 方舟を燃やす (角田光代)
- 兎は薄氷に駆ける (貫志祐介)
- うまいダッツ (坂木司)
- のち更に咲く (澤田瞳子)
- 夜露がたり (砂原浩太郎)
- うらはぐさ風土記 (中島京子)
- ヒポクラテスの悲嘆 (中山七里)
- 君を守ろうとする猫の話(夏川草介)
- 板上に咲く (原田マハ)
- 国歌を作った男 (宮内悠介)
- 捨てたい人捨てたくない人 (群ようこ)